

菅平水土里会・筑波大学山岳科学センター 共催

第4回 菅平湿原シンポジウム

人が豊かにする自然

令和元年

日時 11月15日 (金) 18:00 - 20:00

菅平高原国際リゾートセンター2階大ホール
長野県上田市菅平高原1223-1751

1 「歴史的景観を地域に残す意義は何だろうか」

講師 田中健太【筑波大学山岳科学センター准教授】

菅平に広がる湿原と草原は、何千年も前から続く歴史的な景観です。歴史的景観がスキー場に守られていて、希少動植物の貴重な生息地になっていることが分かりました。湿原や草原の歴史的景観が、生物資源や観光資源として地域や社会にとってどんな意義があるかを考えます。

2 「農環境のお世話に報酬あり －欧州の農業環境スチュワードシップ」

講師 紺野康夫【元帯広畜産大学教授】

ヨーロッパにおける農業環境スチュワードシップは、農村景観や生物多様性、水質環境に、農地の世話や気遣いによって貢献するそれぞれの農家に報酬を与える制度である。多くの研究は実施農地における生物多様性がプラスに変化することを示している。また、過疎地における古い農業慣行の復活や農村レストランの開設にも貢献しているようだ。

司会：菅平水土里会会長 下条 明敏

参加無料・当日受付

問合せ先 筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所 TEL：0268-74-2002
菅平水土里会事務局 TEL：0268-74-2003